



交通カードや電子マネーの普及で生活が便利になります

(ICカード・電子タグ)



●規制改革前

非接触型ICカードシステムを活用した駅の自動改札機は、駅ごとに無線局免許を受ける必要があり、申請手続きに手間がかかりました。また、多様化する利用ニーズに対応できるよう新たな電波利用技術の導入が期待されておりました。

●規制改革後

2002年9月に関係省令が改定され、大幅に申請手続きが簡素化され、また、電波の干渉に強い方式が開発されたのを受け、これを導入できるよう2003年6月に関係省令が改正されました。

●規制改革の効果

自動改札等の交通カード(JR東日本のSuica等)、電子マネー、蔵書・衣料品などの在庫管理や物流管理などに利用されています。また、食、医療など幅広い分野において、活用が期待されています。

ICカードや電子タグの活用例



重ねてあっても、一瞬で単価と枚数の読み取りができます。 皿の内部にICタグが埋め込まれています。